

Drobo 機能紹介

## DAS モデル 最大使用容量

## 64TB への対応について

※本書に記載の内容は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

Rev.1.0

## 目次

<b>1) 64TB への対応について</b> .....	3
1. 対応モデル.....	3
2. マイグレーションを行った場合の注意点 .....	3
<b>2) 64TB 対応化の手順</b> .....	3
1. 最新バージョンの Drobo Dashboard のインストール .....	3
2. ファームウェアのバージョンアップ .....	4
3. Drobo の初期化 (リセット) .....	5
<b>3) 未割り当ての領域が発生した際の対処方法</b> .....	6
1. 初期化して 64TB にする場合.....	6
2. ボリュームをフォーマットしてそのまま使用する場合 .....	6

## 1) 64TB への対応について

### 1. 対応モデル

下記製品の最大使用容量は 64TB に対応しています。

～Drobo DAS モデル～

Drobo 5D3 (Gold Edition)、Drobo 5D3、Drobo 5C

～Drobo NAS モデル～

Drobo 5N2 (Gold Edition)、Drobo 5N2、Drobo 5N

ご利用の Drobo の最大使用容量が 16TB となっている場合、最新ファームウェアへのアップデートおよび初期化(※)を行うことにより、64TB まで使用可能となります。

**※初期化を行うと Drobo 内のデータは全て消去されます。**詳細は後述の手順をご確認ください。  
実際の容量は容量計算サイトを参照

### 2. マイグレーションを行った場合の注意点

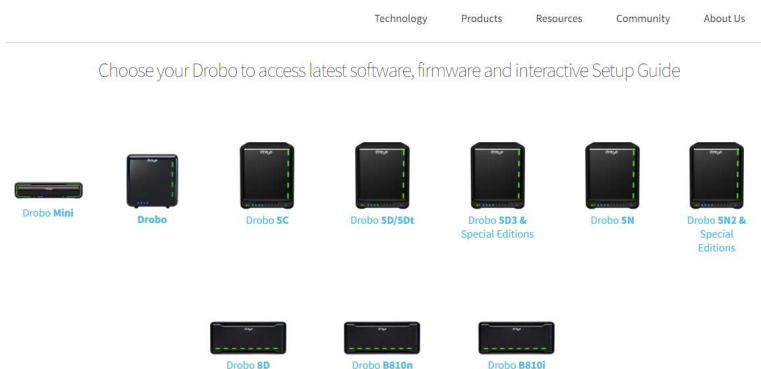
最大使用容量が 16TB 仕様のモデルから 64TB 仕様のモデルへマイグレーションを行った場合、自動的に 64TB 仕様となることはありません。

マイグレーション後に 64TB 仕様にした場合は、最新ファームウェアへのアップデートおよび初期化を行う必要があります。

## 2) 64TB 対応化の手順

### 1. 最新バージョンの Drobo Dashboard のインストール

- ① Drobo オフィシャルホームページ (<https://www.drobo.com/docs/>) よりお使いの PC (Mac 用または Windows 用) に合わせて Dashboard をダウンロードしてください。

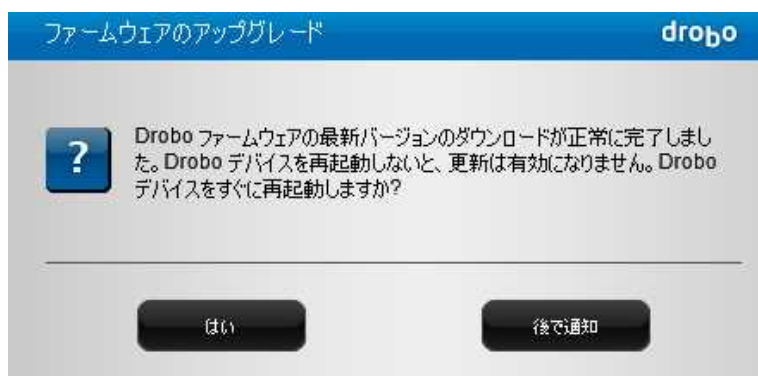


- ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックして起動してください。
- ③ 画面指示に従ってインストールを行ってください。
- ④ Drobo Dashboard を起動してください。
- ⑤ 製品登録するかどうかを尋ねる画面が表示されますが、スキップして構いません。



## 2. ファームウェアのバージョンアップ

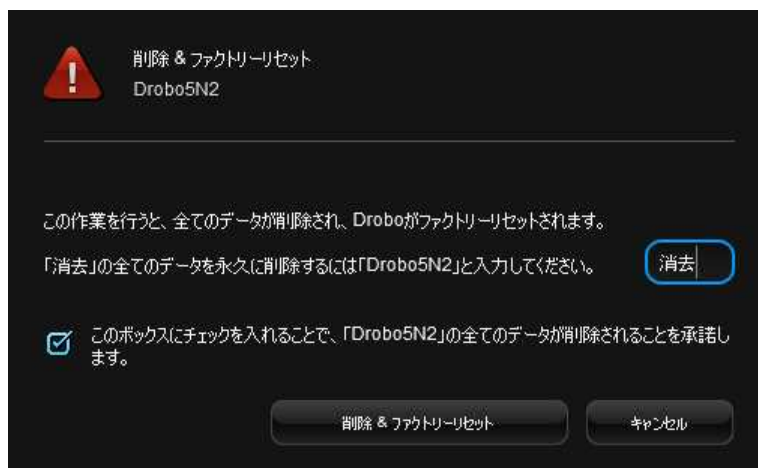
- ① Drobo オフィシャルホームページ (<https://www.drobo.com/docs/>) よりお使いの機種 of ファームウェアソフトをダウンロードしてください。  
※解凍する必要はありません。zip ファイルのまま使用してください
- ② Drobo Dashboard を開き、ファームウェアの更新を行いたい Drobo を選択してください。
- ③ 「ツール」をクリックし、ソフトウェア更新にある「手動更新」をクリックしてください。
- ④ 新たにウィンドウが開きますので、①でダウンロードしたファームウェアソフトを選択し「開く」をクリックしてください。
- ⑤ Drobo Dashboard がファームウェアの更新を始めます。完了までしばらくお待ちください。
- ⑥ 表示された画面で「はい」をクリックして、Drobo を再起動してください。



### 3. Drobo の初期化 (リセット)

**【注意】初期化を行うと、設定情報（管理者設定、ネットワーク設定など）と Drobo 内のデータは全て消去されます。**必要な設定情報はメモに残しておき、あらかじめデータのバックアップを行ってください。

- ① Drobo Dashboard から「ツール」>「削除&ファクトリーリセット」を選択してください。
- ② 表示されたウィンドウの入力欄に「消去」と入力し、チェックボックスにチェックを入れて「削除&ファクトリーリセット」ボタンをクリックしてください。



- ③ 「リセットが完了しました」とウィンドウが表示されればリセットは完了です。

Drobo が再起動し、初期設定が完了するまでお待ちください。

### 3) 未割り当ての領域が発生した際の対処方法

ご利用の Drobo の最大使用容量が 16TB となっている場合、Drobo に HDD を追加して 16TB を超えると、Drobo Dashboard でボリュームが追加されます。

このボリュームはフォーマットした後に使用できるようになります。

※16TB を超えない状態で、手動でボリュームを追加することはできません。SMR 不可

#### 1. 初期化して 64TB にする場合

Drobo の初期化および再設定が必要となりますが、大容量のボリュームを使用できるようになります。前述の 3 つの手順 (P.3~P.5 参照) を行ってください。

1. 最新バージョンの Drobo Dashboard のインストール
2. ファームウェアのバージョンアップ
3. Drobo の初期化 (リセット)

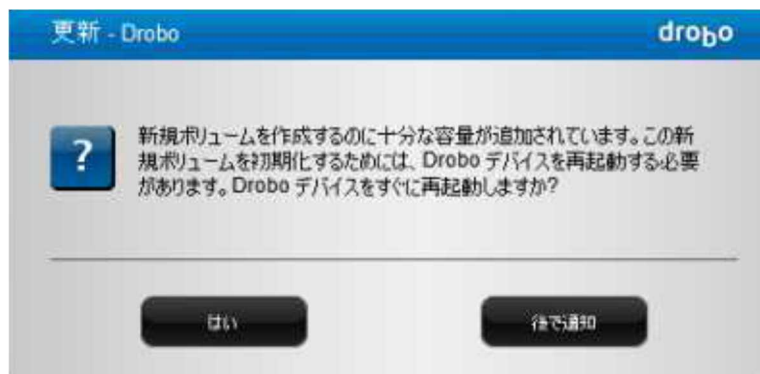
その後、各種設定 (管理者設定、ネットワーク設定など) およびバックアップデータの入れ直しを行ってください。

#### 2. ボリュームをフォーマットしてそのまま使用する場合

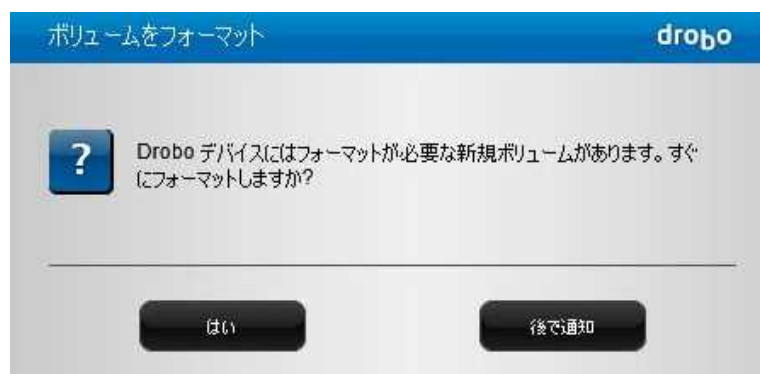
最大使用容量は 16TB のままでの運用となりますが、Drobo の初期化や再設定をせず、すぐにボリュームを使用できます。

以下の手順に従って設定を行ってください。

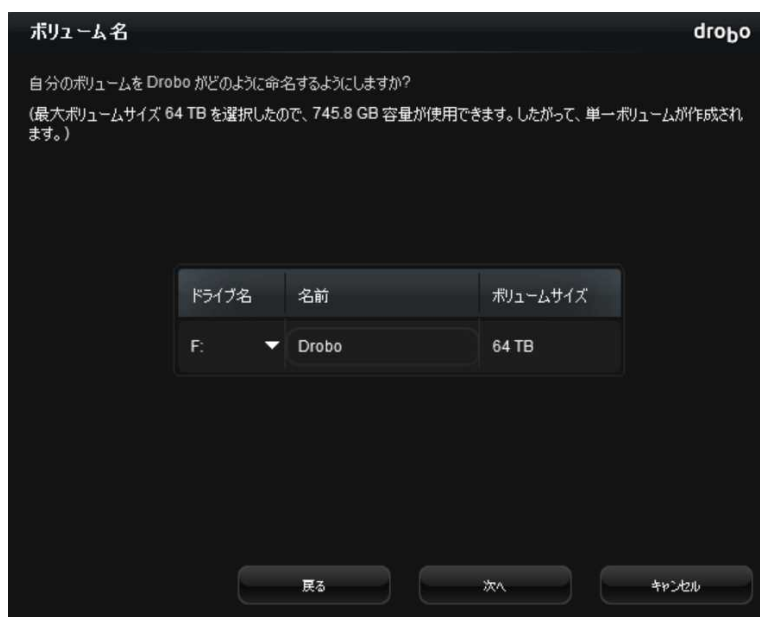
- ① Drobo に HDD を追加して 16TB を超えると、Drobo Dashboard に下記のメッセージが表示されます。「はい」をクリックして、Drobo を再起動してください。



- ② 再起動後、Drobo のアイコンをダブルクリックして開いてください。  
フォーマットを促すウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックしてください。



- ③ フォーマットタイプを確認後、ボリューム名を設定する画面が表示されます。  
ドライブ名の選択、ボリューム名の入力を行い、「次へ」をクリックしてください。



- ④ 内容を確認し、間違いがなければ「フォーマット」をクリックしてください。



- ⑤ フォーマットが完了すると、自動的にマウントされます。

以上で設定は完了です。

